注3

大学番号:私113

[平成24年度設置]

計画の区分:研究科設置

注1



麗澤大学大学院 経済研究科 注2

【届出】設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人 廣池学園 平成26年5月1日現在

作成担当者

担当部局(課)名

担当部局(課)名 学事部大学院・オープンカレッジグループ

職名・氏名 課長・堀江元信

電話番号 04-7173-3720

(夜間) 04-7169-3833

F A X 04-7173-3767

e — mail mhorie@ad.reitaku-u.ac.jp

- (注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。
 - 2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院 ・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には設置時の旧名称を記載し、その下欄に

- () 書きにて、現在の名称を記載してください。
- 例) ○○大学 △△学部

(□□学部(平成◇◇年度より変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- ・学部の設置の場合:「○○大学 △△学部」
- ・学部の学科の設置の場合:「○○大学 △△学部 □□学科」
- ・短期大学の学科の設置の場合:「○○短期大学 △△学科」
- ・大学院の研究科の設置の場合:「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- 通信教育課程の開設の場合:「○○大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」
- ※「留意事項実施状況報告書」の場合は、表題を修正してください。
- 3 大学番号の欄については、平成26年3月20日付事務連絡「大学等の設置に係る設置計画履行状況 報告書等の提出について(依頼)」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

目 次

- 1. 調査対象大学等の概要等
- 2. 授業科目の概要
- 3. 施設・設備の整備状況, 経費
- 4. 既設大学の状況
- 5. 教員組織の状況
- 6. 留意事項に対する履行状況等
- 7. その他全般的事項

- 1 調査対象大学等の概要等
- (1) 設置者

学 校 法 人 廣 池 学 園

- (2) 大 学 名 麗 澤 大 学
- (3) 大学の位置

〒277-8686 千葉県柏市光ヶ丘2-1-1

- (注)・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を())書きで記入してください。
 - ・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載して ください。

(4) 管理運営組織

職名	届 出 時	変 更 状 況	備考
理事長	(ヒロイケ モトタカ) 廣 池 幹 堂 (平成元年2月)		
学長	(ナカヤマ オサム) 中 山 理 (平成19年4月)		
研究科長	(オ ノ ヒロヤ) 小 野 宏 哉 _(平成24年4月)	(ナカノ チアキ) 中 野 千 秋 (平成26年4月)	研究科長任期満了に伴う 交替 平成26年4月1日 ⁽²⁶⁾

- (注)・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を
 - ()書きで記入してください。
 - (例) 平成 2 4 年度に報告済の内容 → (24)

平成26年度に報告する内容 → (26)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。

(5) 調査対象研究科等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) · 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
 - ・ 様式は、平成24年度開設の博士後期課程の場合(平成26年度までの3年間)ですが、開設年度・ 修業年限に合わせて作成してください。(<u>修業年限が2年以下の場合には欄を削除し、4年以上の場合には</u> 機を設けてください。)

(5) -① 調査対象研究科等の名称, 定員

調査対象研究科等			設 置 時	備	考			
の名称(学位)	修業年際	艮	入学定	員	収容定員		1)H	75
経済研究科 経済学・経営学専攻 博士(経済学又は経営学)	3	年	3	\(\)	9	,	基礎となる学部等 経済学	

- (注)・「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
 - ・定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
 - ・学生募集停止を予定している場合は、「備考」にその旨記載してください。

(5) -② 調査対象研究科等の入学者の状況

	報告年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平均入学定員	備考
区	分	春季入学 その他の学期	春季入学 その他の学期	春季入学 その他の学期	超 過 率	N u ζο
Α	入学定員	3人 - 人 (-) [-]	3人 人	3人 人 (-) [-]		
	志願者数	4 - (0) (-) [3] [-]	5 - (4) (-) [4] [-]	5 - (5) (-) [2] [-]		
	受験者数	4 - (0) (-) [3] [-]	5 - (4)(-) [4][-]	5 - (5)(-) [2][-]	0.89倍	
	合格者数	2 - (0) (-) [1] [-]	5 - (4) (-) [4] [-]	5 - (5) (-) [2] [-]		
E	3 入学者数	2 - (0) (-) [1] [-]	3 - (2)(-) [2][-]	3 - (3)(-) [0][-]		
J	、学定員超過率 B/A	0. 66	1.00	1.00		

- (注)・ 数字は、平成26年5月1日現在の数字を記入してください。
 - ・ ()内には、社会人の状況について内数で記入してください。該当がない年には「一」を記入してください。
 - 「社会人」については、認可申請書において貴学が定める社会人の定義に従って記入してください。
 - ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「一」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「一」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点第2位まで記入してください。
 - ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。 なお、計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。

(5) -③ 調査対象研究科等の在学者の状況

報告年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	備考
学 年	春季入学 その他の学期	春季入学 その他の学期	春季入学 その他の学期	
1 年次	[1] [-]	[2] [-]	[0] [-]	
2 年次		[1] [-]	[2] [-] 3 -	
3 年次			[1] [-]	
計	[1]	[3] 5	[3]	

- (注)・ 数字は、平成26年5月1日現在の数字を記入してください。
 - ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「一」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「一」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分	入学者数(b)	退学者数(a)	退气	学者数(内訳)		主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合
対象年度			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		の割合 (a/b)
			平成24年度	0 人	0 人		
平成24年度 入学者	2 人	0 人	平成25年度	0 人	0 人		0 %
			平成26年度	0 人	0 人		
平成25年度	3 人	0 人	平成25年度	0 人	0 人		0 %
入学者	3 /	0 X	平成26年度	0 人	0 人		0 70
平成26年度 入学者	3 人	0 人	平成26年度	0 人	0 人		0 %
合 計	8 人	0 人					0 %

- (注)・数字は、平成26年5月1日現在の数字を記入してください。
 - ・ 各年度の入学者数については、該当年度当初に入学した人数を記入してください。<u>(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要は</u>ありません。)
 - ・ 各年度の退学者数については、退学年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」) により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための 準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
 - ・「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度の入学者のうち、平成26年5月1日現在までに退学した学生数の合計】を、 【当該対象年度の入学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを記入してください
 - ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。 (記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学

・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

2 授業科目の概要

〈経済研究科 経済学・経営学専攻(博士課程)>

(1) 授業科目表

科目		服業利用の名称 配当 単位数 専任教員等の配置													
区分	授業科目の名称	年次	必修	選が	引 自	由	教 授	准教授	講	師 ほ	助	女 」	功	£	備 考
	経済理論リサーチセミナーI	1通	未開講	4			2 3								履修希望者がいなかったため (25)
															履修希望者がいなかったため(26)
	経済理論リサーチセミナーⅡ	2通	未開講	4			2 3	8							配当年次に至っていないため(24)
															通常開講(25)
			± 00=#												履修希望者がいなかったため(26)
	経済政策リサーチセミナー I	1通	未開講	4			3 4								履修希望者がいなかったため(24)
															履修希望者がいなかったため(25)
経			+ 88=#												履修希望者がいなかったため(26)
済	経済政策リサーチセミナーⅡ	2通	未開講	4			3 4								配当年次に至っていないため(24)
		2通													履修希望者がいなかったため(25)
分	(mm+1)	1 17	+ 88=#												通常開講 (26)
野	経済史リサーチセミナー I	1通	未開講	4			2								履修希望者がいなかったため(24)
															履修希望者がいなかったため(25)
	(mark + 1, 1)	0.2	+ 88=#												履修希望者がいなかったため(26)
	経済史リサーチセミナーⅡ	2通	未開講	4			2								配当年次に至っていないため(24)
															履修希望者がいなかったため(25)
		1通	未開講	4			2 :	,							履修希望者がいなかったため(26)
	ファイナンスリサーチセミナー I	+ 迪 1通	*** 	4			≠ ,	3							履修希望者がいなかったため (25)
	7-7-1- T		未開講	4			2 3								通常開講(26)
	ファイナンスリサーチセミナーⅡ	2通	木用語	4			≠ 0								配当年次に至っていないため (24) 履修希望者がいなかったため (25)
															1213 (1 ± 1 1 0 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1
	経営管理リサーチセミナー I	1通		4	-		4 !	,				+		-	履修希望者がいなかったため(26)
	経営管理リサーチセミナー II	2通	未開講	4			4 5								配当年次に至っていないため (24)
	経営自座グリーデビミノーロ	2通	>1 < 1213 HIT	7			7.								記当年次に主うていないため(24) 通常開講(25、 <mark>26</mark>)
	経営戦略リサーチセミナー I	1通	未開講	4			2								歴 市 州
		1,22		•			_								履修希望者がいなかったため(25)
															履修希望者がいなかったため(26)
	経営戦略リサーチセミナー II	2通	未開講	4			2								配当年次に至っていないため(24)
経		_~					_								履修希望者がいなかったため(25)
***															履修希望者がいなかったため(26)
営	マーケティングリサーチセミナー I	1通	未開講	4			1								履修希望者がいなかったため(24)
分															履修希望者がいなかったため(25)
野															履修希望者がいなかったため(26)
	マーケティングリサーチセミナーⅡ	2通	未開講	4			1								配当年次に至っていないため(24)
															履修希望者がいなかったため(25)
															履修希望者がいなかったため(26)
	経営史リサーチセミナー I	1通	未開講	4			1								履修希望者がいなかったため(24)
		1通													履修希望者がいなかったため(25)
															通常開講 (26)
	経営史リサーチセミナーⅡ	2通	未開講	4			1								配当年次に至っていないため(24)
															履修希望者がいなかったため(25)
															履修希望者がいなかったため (26)
研	研究指導 I	1通					15	19		ı		1			
究	研究指導Ⅱ	2通					15	19							配当年次に至っていないため(24)
指導		2通													通常開講 (25、 <mark>26</mark>)
*7	研究指導Ⅲ	3通					15	19							配当年次に至っていないため(24)
		3通													配当年次に至っていないため(25)
															通常開講 (26)
									1						

- (注)・ 認可申請書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 設置認可時の授業科目全て(兼任,兼担教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時(平成24年度に認可された大学等は設置認可時)より変更されているものは赤字見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
 - なお、昨年度の報告書において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 兼任、兼担の教員が担当する授業科目については、備考欄に担当する教員数を「兼〇」と記入してください。
 - 授業科目を追加又は内容を変更する場合で、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、 「専任教員採用等設置計画変更書」の審査年月等を「備考」に記入してください。(今後審査を受ける場合には、「平成〇年〇月 提出予定」と記入してください。)
 - ・ 「配当年次」について、設置認可申請時に開講時期を記入する必要がなかった学部等(平成19年度認可

以前)についても、設置認可時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え消し修正をしてください。

・履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

(2) 授業科目数

I		設	置	時(の †	it i	画		変	ξ	更	状	ž	兄			備	考	
	必	修	選	択	自	由	計	必	修	選	択	自	由		計		1/#1	15	
I		科目		科目		科目	科目												
				19			19									変更無し			
								[]	[]	[]	[]				

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注)・ 設置時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となって いる授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
 - ・履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由,代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止(教育課程から削除) した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- (5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

(注)	授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。
(6)	「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合
	未開講科目と廃止科目の計 - 0.00%

(注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点第2位までを記入してください。

設置時の計画の授業科目数の計

2 授業科目の概要

<国際経済研究科 経済・政策管理専攻(博士課程)>

(1) 授業科目表

科目	15#11 D o b 16	配当		単位数	ζ		専任教	0 員等	の配	置			ш т
区分	授業科目の名称 	年次	必修	選択	自 由	教 授	准教授	講師	助	教	助	手	備考
	経済理論リサーチセミナーI	1通	未開講	4		2							履修対象者がいなかったため (24)
													履修対象者がいなかったため (25)
													履修対象者がいなかったため (26)
	経済理論リサーチセミナーⅡ	2通	未開講	4		2							履修希望者がいなかったため(24)
													履修対象者がいなかったため (25)
													履修対象者がいなかったため (26)
	経済政策リサーチセミナーI	1通	未開講	4		3							履修対象者がいなかったため (24)
													履修対象者がいなかったため (25)
経													履修対象者がいなかったため (26)
済管	経済政策リサーチセミナーⅡ	2通	未開講	4		3							履修対象者がいなかったため (25)
理		4.5	± 88=#										履修対象者がいなかったため (26)
分野	経済史リサーチセミナーI	1通	未開講	4		2							履修対象者がいなかったため(24)
													履修対象者がいなかったため (25)
	M + +	0.24	未開講	١,									履修対象者がいなかったため(26)
	経済史リサーチセミナーⅡ	2通	不用語	4		2							履修希望者がいなかったため(24)
													履修対象者がいなかったため(25)
	政策科学リサーチセミナー I	1通	未開講	4		4 3							履修対象者がいなかったため(26)
		1 1111	>1<171314 9	-		4 3							履修対象者がいなかったため (24) 履修対象者がいなかったため (25)
													履修対象者がいなかったため(26)
	 政策科学リサーチセミナーⅡ	2通	未開講	4		4 3							履修対象者がいなかったため (25)
		- 100	1 - 10 - 10 - 10 - 10 - 10 - 10 - 10 -	l '		, ,							履修対象者がいなかったため(26)
	経営管理リサーチセミナーI	1通	未開講	4		5 4						-	履修対象者がいなかったため(24)
													履修対象者がいなかったため(25)
													履修対象者がいなかったため (26)
	 経営管理リサーチセミナー II	2通	未開講	4		5 4							履修希望者がいなかったため(24)
													履修対象者がいなかったため (25)
													履修対象者がいなかったため(26)
	経営政策リサーチセミナー I	1通	未開講	4									休講
													履修対象者がいなかったため (25)
													履修対象者がいなかったため (26)
政策	経営政策リサーチセミナーⅡ	2通	未開講	4									休講
管													履修対象者がいなかったため (25)
理分													履修対象者がいなかったため (26)
野	マーケティングリサーチセミナー I	1通	未開講	4		1							履修対象者がいなかったため (24)
													履修対象者がいなかったため (25)
													履修対象者がいなかったため (26)
	マーケティングリサーチセミナーⅡ	2通	未開講	4		1							履修希望者がいなかったため(24)
													履修対象者がいなかったため (25)
			+ 88=#										履修対象者がいなかったため (26)
	情報管理リサーチセミナー I	1通	未開講	4		2 1							履修対象者がいなかったため(24)
													履修対象者がいなかったため (25)
		אַי ני	未開講	4		0.1							履修対象者がいなかったため(26)
	情報管理リサーチセミナーⅡ	2通	小川神	4		2 1							履修希望者がいなかったため(24)
													履修対象者がいなかったため (25) 履修対象者がいなかったため (26)
<u> </u>	研究指導 I	1通	未開講			18 15						-	履修対象者がいなかったため (24) 履修対象者がいなかったため (24)
	WI フレゴロ 引手 エ	- 700	-1-1/131419			10 10							履修対象者がいなかつにため (24) 履修対象者がいなかったため (25)
研究													履修対象者がいなかったため(26)
指	研究指導 II	2通	未開講			18 15						Ĭ	履修対象者がいなかったため(25)
導	OLEGAN TO THE STATE OF THE STAT	_~=	Ī										履修対象者がいなかったため(26)
	研究指導Ⅲ	3通	未開講			18 15						Ĭ	履修希望者がいなかったため(24)
		3通											通常開講(25、 <mark>26</mark>)
		_											713 113 HT (20 20)

(注)・ 認可申請書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。

- ・ 設置認可時の授業科目全て(兼任,兼担教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で,前年度報告時(平成24年度に認可された大学等は設置認可時)より変更されているものは赤字見え消し修正し,「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
 - なお、昨年度の報告書において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
- 兼任、兼担の教員が担当する授業科目については、備考欄に担当する教員数を「兼〇」と記入してください。
- ・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合で、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、「専任教員採用等設置計画変更書」の審査年月等を「備考」に記入してください。(今後審査を受ける場合には、「平成〇年〇月 提出予定」と記入してください。)
- には、「平成〇年〇月 提出予定」と記入してください。) ・ 「配当年次」について、設置認可申請時に開講時期を記入する必要がなかった学部等(平成19年度認可 以前)についても、設置認可時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、 赤字で見え消し修正をしてください。
- 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

(2) 授業科目数

I		設	置	時(の i	计正	画		変	:	更	状	;	兄		備	考
I	必	修	選	択	自	由	計	必	修	選	択	自	由	計		1 / 用	75
I		科目		科目		科目	科目		科目		科目		科目	科	目		
				19			19									変更無し	
							19	[]	[]]]	[]		

(注) 未開講である場合や、配当年次に関わらず、教育課程上の授業科目数を記入する(資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。)とともに、[] 内に、届出時の計画からの増減を記入してください。(記入例:1科目減の場合:△1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由,代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単 位 数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由,代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止(教育課程から削除)した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- (5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

(注)	授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生へのほ 知方法」を記入してください。
(6)	「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合
	未開講科目と廃止科目の計 = 0.00

(注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点第2位までを記入してください。

設置時の計画の授業科目数の計

3 施設・設備の整備状況,経費

	区		分						内					:	容				備考
(1)		区	分			専		用	,	ŧ	用		も用する 学校等の				計		麗澤中学校 (450)
校		校 绉	: 敷均	t			84	, 550. 46m²	0m²				52, 936. 00 m²				137, 486. 46m²		麗澤高等学校 (635)
1X		運動	場用地	1			7,	, 979. 00m²	16, 794. 00㎡				25	5, 548. 00)m²		50, 3	21. 00 m	
地		小	計	ł			92	, 529. 46m²	16, 794. 00㎡				78	3, 484. 00)m²	171, 013. 46m²			
等		そ	の他	1	23, 228. 46㎡					0m			()m²		23, 2	28. 00 m		
J		合	計	ł	115, 757. 46㎡					16, 794. 00 m			3, 484. 00)m²		211, 0	35. 46 m		
						専		用	ŧ	ŧ	用		ŧ用する 学校等σ				計		
(2) 校			舎				4:	2449. 34m²			0m			()m²		424	49. 34 m	
					(m²)	(m³)	(1	m³)		(m²)		
				İ	講	義室		演	室室		実験実習	室	情報	処理学習	施設	語:	学学習	施設	大学全体
(3) 教		室	等			6	8室		5	室		0室			7室			0室	
													(補助	力職員	0人)		力職員	0人)	
(4) 専	任教	員研究	室		-	新設研究科等の 経済研究科								<u>室</u> 数 			-		
1					-	1										3	6 室	1.3% A. / 1	
(5)	新設学部等		_	図				雑誌	Γ	電子ジャー	<u> </u>	視聴力	覚資料	機械	· 器具	標	本	大学全体	
(5)		の名称	尓	[[*] 〔うち外国書〕		〔うちタ	種 〔うち外国					点		点		点			
図				181	000	[113 NO		4, 200		俚		[5]		4, 200		35			1
書 •	糸	圣済研究	接済研究科 484,000 [113,000] 509,000 [194,000]		(4, 200 [700])			(6)					(35)		0				
設備					[700]						35			0					
		計				[194, 00			[700])		(24		(4, 400)		(35)		0	
						面		積			閲覧座	席 数		収	納	可能	m	数	
(6) 図						6, 228. 1	5m²		276席				6	06, 000	m		1		
(-	٨٠			面		積			体	育館以	外のスプ	ポーツ施	設の概	要			
(7) 体) 体 育 館					5, 142. 2	0m²		_					_					
		奴弗	[2	×		分	厚	開設年度	完成年	丰度	区	分	開設す	前年度	開設	年度	完月	成年度	図書費には電子ジャーナ
(8)	揺り		教員 1	人当	IJł	研究費等	350	~400千円	350~40	0千	円 図書購	入費		80千円		80千円	75,	080千円	ヿル・ァ ータ^ ーム登偏質 ・ (運用コスト含む)を
経費の積り及	とび		共 同	研	究	,費等	_	/		_	設備購	入費	60, 9	64 3 P	53,	761 7 P	52,	400千円	
維持方 の 概	寺方法 ヴェュール		9	第 1	年次		第2年次		第 3	3年次	第4年	下次	第			496千円 年次	(24, 23, 20)。 第3年次は博士課程の		
	納付金				1	, 190千円		940=	940千円 930千円 — 千円 — 千円 — 千円					み、博士課程の授業料 は修士課程より1万円					
		学生	納付金	以外0	D維	持方法の	概要	私立大	学等経常	含費·	補助金、資産	運用収	入、寄	付金、幹	製工工	•			減。

- (注)・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、 複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の <u>項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)</u>
 - ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成26年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その 理由及び報告年度「(25)」を「備考」に赤字で記入してください。
 - なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」 を併せて提出してください。

4 既設大学等の状況

大学の名称	麗	澤大	学							備	考
既設学部等の名称	修業 年限	入学定員	編入学 定 員	収 容 員	学位又 は称号	定 員超過率	開設年度	所 在	地		
	年	人	年次	人		倍					
			人								
外国語学部											
外国語学科	4	300	0	1200	学士(文学)	1. 07	平成20年度	千葉県柏市	ī		
英語学科	4	_		-	学士(文学)		昭和34年度	千葉県柏市	Ī-	平成20年より	学生募集停止
										平成25年3月3	日にて廃止
ドイツ語学科	4	-		-	学士(文学)		昭和34年度	千葉県柏市	ī	平成20年より	学生募集停止
中国語学科	4	_		-	学士(文学)		昭和35年度	千葉県柏市	ī	平成20年より	学生募集停止
日本語学科	4	_		-	学士(文学)		昭和63年度	千葉県柏市	ī	平成20年より	学生募集停止
経済学部											
経済学科	4	170	0	680	学士(経済学)	0.89	平成20年度	千葉県柏市	ī		
経営学科	4	130	0	520	学士(経営学)	1. 05	平成20年度	千葉県柏市	ī		
国際経済学部											
国際経済学科	4	_		-	学士(経済学)		平成4年度	千葉県柏市	ī	平成20年より	学生募集停止
国際経営学科	4	-		-	学士(経営学)		平成4年度	千葉県柏市]	平成20年より当	学生募集停止
										平成25年3月3	日にて廃止
— <u>国際産業情報学科</u>	4	-		-	学士(産業情報学)		平成11年度	千葉県柏市	Ī-	平成20年より等	学生募集停止
										平成24年3月3	日にて廃止
大学の名称		〇 短	期大	学						備	考
既設学部等の名称	修業 年限	入 定 員	編入学 定 員	収容定員	学位又 は称号	定 員超過率	開 設年 度	所 在	地		
	年	人	年次	人	, , ,	倍				1	
			人								

- (注)・ 本調査の対象となっている大学等の設置者(学校法人等)が設置している全ての大学(学部,学科), 大学院(専攻)及び短期大学(学科)について、それぞれの学校種ごとに、平成25年5月1日現在の 上記項目の情報を記入してください。その際、<u>AC対象学部学科等についても当該様式に記入</u>してくだ さい。(ただし、専攻科に係るものについては、記入する必要はありません。)
 - ・ 「定員超過率」には、標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の 平均の小数点第2位まで(小数点第3位を切り捨て)を、学科(短期大学において専攻課程を設置 している場合には、専攻課程)単位で記入してください。
 - ・ 学生募集を停止している学部等がある場合、入学定員と収容定員は「一」とし、「備考」に「平成 〇年より学生募集停止」と記入してください。

5 教員組織の状況

<経済研究科 経済学・経営学専攻(博士課程)>

(1) 担当教員表

		設 置 時	の 計 画				変	更	状 況			
専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 (年	名 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	備	考
専	教授	小野 宏哉 57	平成24年4月	¬¬¬¬¬¬¬¬¬¬¬¬¬¬¬¬¬¬¬¬¬¬¬¬¬¬¬¬¬¬¬¬¬¬¬¬								
博	教授	佐藤 政則 57	平成24年4月	銀元 14 等 皿 経済史リサーチセミナー I 経済史リサーチセミナー I 経営史リサーチセミナー I 研究指導 I 研究指導 I 研究指導 I 研究指導 I 研究指導 I 研究指導 I								
専	教授	下田 健人 54	平成24年4月	報楽理論リサーチセミナー I 報楽理論リサーチセミナー I 研究指導 I 研究指導 I 研究指導 Ⅲ 研究指導 Ⅲ								
専	教授	高辻 秀興 59	平成24年4月	¬¬¬¬¬¬¬¬¬¬¬¬¬¬¬¬¬¬¬¬¬¬¬¬¬¬¬¬¬¬¬¬¬¬¬¬								
専	教授	永井 四郎 65	平成24年4月	研究指導 I 研究指導 I 研究指導 II								
専	教授	成相 修 64	平成24年4月	□ □ □ □ □ □ □								
専	教授	真殿 達 64	平成24年4月	^{銀済政策リサーチセミナーI} ^{銀済政策リサーチセミナーII} 研究指導 I 研究指導 II 研究指導 II								
専	教授	松本 健一 66	平成24年4月	□ □ □ □ □ □ □								
専	教授	Lau Simyee 50	平成24年4月	日本 日本								
専	教授	大塚 秀治 55	平成24年4月	経営戦略リサーチセミナー I 経営戦略リサーチセミナー II								

1

				経営戦略リサーチセミナーI						
専	教授	大場 裕之	平成24年4月	経営戦略リサーチセミナーⅡ						
		58		研究指導 I						
				研究指導Ⅱ						
				研究指導皿						
				経営管理リサーチセミナー I						
専	教授	高 巖	平成24年4月	経営管理リサーチセミナーⅡ						
		56		研究指導I						
				研究指導Ⅱ						
				研究指導Ⅲ						
				経営管理リサーチセミナー I						
専	教授	中野 千秋	平成24年4月	経営管理リサーチセミナーⅡ						
		56		研究指導I						
				研究指導Ⅱ						
				研究指導皿						
				経営管理リサーチセミナー I						
専	教授	花枝 美恵子	平成24年4月	経営管理リサーチセミナーⅡ						
		62		研究指導I						
				研究指導Ⅱ						
				研究指導皿						
				経営管理リサーチセミナー I						
専	教授	長谷川 泰隆	平成24年4月	経営管理リサーチセミナーⅡ						
		57		研究指導I						
				研究指導Ⅱ						
				研究指導Ⅲ						
				マーケティングリサーチセミナーI						
専	教授	目黒 昭一郎	平成24年4月	マーケティングリサーチセミナーE						
		67		研究指導 I						
				研究指導Ⅱ						
				研究指導Ⅲ						
									経済理論リサーチセミナー I	新規採用
					専	教授	徳永 澄憲	平成26年4月	経済理論リサーチセミナーⅡ	対象となる専門分野を強化するため
							62		研究指導 I	
									研究指導Ⅱ	
									研究指導Ⅲ	
									経営管理リサーチセミナー I	修士課程担当教員から昇格
					専	教授	倍 和博	平成26年4月	経営管理リサーチセミナーⅡ	対象となる専門分野を強化するため
							47		研究指導 I	
									研究指導Ⅱ	
									研究指導Ⅲ	
									経済政策リサーチセミナー I	修士課程担当教員から昇格
					専	教授	清水 千弘	平成26年4月	経済政策リサーチセミナーⅡ	対象となる専門分野を強化するため
							46		研究指導 I	
									研究指導Ⅱ	
									研究指導Ⅲ	
									ファイナンスリサーチセミナーI	修士課程担当教員から昇格
					専	教授	籠 義樹	平成26年4月	ファイナンスリサーチセミナーⅡ	対象となる専門分野を強化するため
							46		研究指導 I	
									研究指導Ⅱ	
									研究指導Ⅲ	
				<u> </u> 			4.18.1			l .

- 後任が決まっていない場合には、「後任未定」と記入してください。
- ・ 辞任者は「備考」に退職年月、氏名、理由を記入してください。
- ・ 年齢は、<u>「設置時の計画」には当該学部等の就任時における満年齢</u>を、<u>「変更状況」には平成26年5月1日現在の満年齢</u>を記入してください。
- 教員を学年進行中に変更した又は変更する予定の場合(「新規採用」、「担当授業科目の変更」又は「昇格」をいう。)は、 変更後の状況を記入するとともに、その理由、後任者が決まっていない場合は、「変更状況」の「氏名」に「後任未定」と記入し、 及び今後の採用計画を「備考」に記入してください。
- ・ **図可で設置された学部等の専任教員を変更する場合**は、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査(AC教員審査)を受けてください。AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。
- 教員として授業等を担当することは出来ません。 「専任教員採用等変更書(AC)」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」,変更書を提出予定の場合は「〇年〇月変更書提出予定」と記入してください。
- なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「備考」に「(教員審査省略)」及びその変更の理由、変更年度 ()書き等のみを記入してください。

(2) 専任教員数

			設	置	時	の	計	画						変	更	*	犬	況			年 齢	構成	
研究	克指導	教員		开究 打 前助教					計		研究	指導	教員		究指導 助教員				計		員の F年齢	定年をしている	
	15			1					16			19			1				20		65	5	
(15)	(1)		(16)	[4]	[]		[4]	歳		名

- (注)・「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入し、「変更状況」には、平成26年5月1日現在(就任予定の者を含む)の状況を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。(記入例・1名減の場合・入1)
 - との増減数を記入してください。(記入例: 1名減の場合: △1)

 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年年齢および、平成26年5月1日現在、特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数を記入してください。

(3) 専任教員辞任等の理由 辞任無し

番号	職位	専任教員氏名	辞任(就任辞退を含む)等の理由
1			
2			
3			
	j		

- (注)・ 専任教員の辞任等の理由について、可能な限り具体的に記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任(就任辞退を含む)等の理由」に辞任理由等および()書きで報告年度を記入してください。

	(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」
ı	

(注)・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

6 留意事項に対する履行状況等

設置計画履行状況 超える専任教員数の割合が比 採用されている教員が数名残 に応じて新規採用を実施している65歳 で26年2月) の趣旨を踏まえた適切な運用 定年を厳守し、研究指導上特 に努めるとともに、教員組織 に必要とされる場合に限り70 編成の将来構想について検討 歳まで再雇用を認める。昨年 度末に3名が退職し、新たに2名を今年度から採用した。 すること。 博士課程においては、退職者 はいなかったものの、研究指 導環境充実のため、修士課程	区 分	留意事項	履行状況	未履行事項について の実施計画
設置計画履行状況 超える専任教員数の割合が比 採用されている教員が数名残 に応じて新規採用を実施している65歳 で26年2月) の趣旨を踏まえた適切な運用 定年を厳守し、研究指導上特 に努めるとともに、教員組織 に必要とされる場合に限り70 編成の将来構想について検討 歳まで再雇用を認める。昨年 度末に3名が退職し、新たに2名を今年度から採用した。 すること。 博士課程においては、退職者 はいなかったものの、研究指 導環境充実のため、修士課程				
から3名を昇格させ、1名を新 期採用した。	調査	兄 超える専任教員数の割合が比 時 較的高いことから、定年規程 の趣旨を踏まえた適切な運用 に努めるとともに、教員組織 編成の将来構想について検討	採用されている教員が数名残っているものの、現在は65歳定年を厳守し、研究指導上特に必要とされる場合に限り70歳まで再雇用を認める。昨年度末に3名が退職し、新たに2名を今年度から採用した。博士課程においては、退職者はいなかったものの、修士課程はいから3名を昇格させ、1名を新	(対応完了予定時期:平成28

- (注)・「設置時」には、当該大学等の設置時に付された留意事項(<u>学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。</u>)と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、 <u>報告年度を()書き</u>で付記してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された留意事項に対する 履行状況等について、具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付 してください。
 - ・ 定員管理に係る留意事項への履行状況は、指摘を受けた学科等についてのみ記入してください。
 - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。

7 その他全般的事項

<経済研究科>

(1) 設置計画変更事項等 該当なし

設置時の計画	変更内容・状況,今後の見通しなど
記入例) ① 修了要件単位数 124単位 必修科目〇〇単位,選択科目〇〇単位	① 学生の専門性をより高めるため、必修科目(1科 目・2単位)を追加。(別添〇「新旧対象表」参照)
② 施設・設備a 講義室〇室(〇㎡)b 自習室〇室(〇㎡)c 図書〇〇冊	② 学生の修学環境を改善するため、講義室、自習室を それぞれ〇部屋(〇㎡)増やすとともに、図書も〇〇冊 増書した。

- (注) 1~6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの(未実施を含む。) 及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
 - ・ 設置時の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し、それ以外の事柄については 適宜項目を設けてください。(記入例参照)
- (2) 教員の資質の維持向上の方策(FD活動含む)

① 実施体制

a 委員会の設置状況

全学的な組織としてファカルティディベロップメント委員会を設置し、研究科の代表も委員として委嘱され、 全学的な取り組みとして実施している。

b 委員会の開催状況(教員の参加状況含む)

第1回:6/4 (火) 教員9名中7名が参加、第2回:7/11 (木) 教員9名中8名が参加、第3回:9/26 (木) 教員9名全員が参加、第4回:11/14 (木) 教員9名全員が参加

第5回:1/23(木)教員9名全員が参加、第6回:2/27(木)教員9名中7名が参加

c 委員会の審議事項等

第1回:25年度事業計画、新任専任教員研修会、学生による授業評価の実施等、教員間授業公開の実施等、 授業科目のナンバリング

第2回:授業科目のナンバリング、GPA成績評価の評価割合、学生による授業評価、

授業評価の結果データの提供、新任専任教員研修会

第3回:授業科目のナンバリング、GPA成績評価の評価割合、学生による授業評価、シラバスの記載項目、 教員間授業公開

第4回:26年度事業計画、教員間授業公開、学生による授業評価、新任専任教員研修会報告、 26年度シラバスの記載方法等、FD研修会

第5回: 教員間授業公開の実施結果、学生による授業評価実施結果報告、GPA制度、

26年度新任専任教員研修会

第6回: FD検討会検討課題、シラバスの内容点検、学生による授業評価の実施結果、26年度事業計画、 各学部・研究科のFD活動報告

② 実施状況

- a 実施内容
 - 新任専任教員研修会の実施
 - ・ 第1学期授業において教員間授業公開の実施
 - ・ 学生による授業評価を第1学期、第2学期に実施

- ・ その他、学部・学科・専攻、研究科・専攻単位で、各種委員会内での検討事項としてFD活動の確認が行われた。
- b 実施方法

新任専任教員研修会は、9月3日・4日の1泊2日で、群馬県にある本学セミナーハウスにおいて実施した。また、 教員間授業公開は、6月11日~6月23日の期間で実施した。

c 開催状況(教員の参加状況含む)

新任専任教員研修会には、全学で新任4名、昇任3名の計7名が参加した。また、教員間授業公開は250クラスが対象となり、見学授業数は31クラス、見学教員数は14名であった。

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

実施結果は教授会等で報告し、今後の授業改善の参考資料とした。また、見学を受けた授業担当者にも取りまとめて報告すると共に、教員向け学内イントラでも公開した。

- ③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況
 - a 実施の有無及び実施時期

平成25年度は7月2日から7月13日、および1月6日から25日において実施した。

b 教員や学生への公開状況, 方法等

集計結果を該当授業担当教員にフードバックした。また、FD委員会内で結果を協議検討した。

④その他(経済研究科としてのFD活動)

経済研究科では、FD検討会(5月16日、10月17日、12月12日、1月14日)を行った。

それぞれに、研究科における教育活動にて直面している諸問題を、教員の指導方法だけでなく教育体制の改善についても検討し、新しい企画を実施した。そして、設置の諸目標を効果的に達成していくための検討を行った。

- (注) · 「① a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。
 - 「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。(記入例参照)
 - 「事前伺い」により設置された学部等については、当該項目を記載する必要はありません。
- (3) 自己点検・評価等に関する事項
- ① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

経済研究科設置の趣旨・目的およびその教育内容を入学案内、ホームページ等で分かりやすく紹介した。入学者選抜の段階から、提出された研究計画書の審査や口頭試問を実施することによって、研究科での研究に適合しているかどうかをより明確に審査した。その結果、引き続き一定の入学者を迎えることができた。

入学後は各種オリエンテーションを実施すると共に、修士課程では4月13日に研究計画発表会を実施し、今後の研究計画の再点検とその方向性を教示した。また、研究科FD検討会等で議論が進められ、研究成果としての論文作成の基礎となる先行研究レビューの口頭試問会の実施や中間発表会の評価を点数化するなど、教育体制の整備・向上に尽力した。博士課程では、リサーチセミナーとして題する研究発表会を継続させた。

マレーシアの大学との提携関係も確立され、英語による教育体制の整備を図り、準備を進めた。また、学部と連携して、若手教員の研究発表会を実施することによって、大学院生の研究意欲を刺激させ、誘導する企画を定着させた。修士課程は完成年度を終えて、昨年度末に初めて修了者を出した。この2年間を土台にして、今後、その教育・研究内容を改善し、本研究科が担うべきグローバル化と専門性を実現していくことが期待される。

- ② 自己点検·評価報告書
 - a 公表(予定)時期
 - 平成26年6月30日 公表(予定)
 - b 公表方法
 - ・自己点検・評価報告書として『麗澤大学年報』を発行する。必要に応じて配布・提供する。 なお、平成24年度開設となった経済研究科の活動内容の全般についても、その新たな諸活動内容がまとめられ、

記載される。

- ・大学ホームページ上には「教育情報の公開」として本学の活動全域を公開する。
- ③ 認証評価を受ける計画
 - ・本年度に評価機関(公益財団法人日本高等教育評価機構)の評価を受けるべく、現在その準備を進めている。
- (注)・ 届出時の計画の変更(又は未実施)の有無に関わらず記入してください。 また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を 含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

- ・「事前伺い」により設置された学部等については、当該項目を記載する必要はありません。
- (4) 情報公表に関する事項

0 1	投置計画履行状況報告書						
а	ホームページに公表の有無	(有		無)
b	公表時期(未公表の場合は予定時期)	(平成26年	5月	30日)	